

## 総合教育会議（第1回）会議録

1 開 会 年 月 日	令和3年9月2日（木） 午後2時5分
2 場 所	笠岡市役所 市長室
3 出席委員等の氏名	笠 岡 市：市長 小林嘉文 教育委員会：教育長 岡田達也 教育委員 石井 啓弐, 藤谷 幸弘, 山下 敬広, 東山 琴子
4 欠席委員等の氏名	なし
5 会議に出席した 者の 職・氏名	教育部長 石田 輝宏 教育総務課長 松尾 千鶴 学校教育課長 山川 達也
6 議事案件及び会議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 小林市長 岡田教育長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 学校規模適正化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、学校教育課が、8月29日（日）に今井小学校地区の保護者を対象に行った意見交換会の状況、アンケートの結果や今井小・笠岡小交流計画等の説明を行い、意見交換を実施。</li> <li>・PTAの役員が実施した一昨年の保護者アンケートの際には、統合について9割が賛成という結果であったが、統合に向けた話し合いが十分になされない中、再度実施された昨年のアンケートでは、7割以上が反対という結果となり、笠岡市として、強引に統合することはできないため、保護者アンケートを実施した。</li> <li>・アンケートの結果としては、令和4年度の統合については、反対が75%と大多数を占め、令和5年度以降の統合については、反対の数が減り、その分どちらかと言えば不明、どちらとも言えないの回答が増えた。</li> <li>・反対の理由としては、コロナへの不安、交流等が十分にできていないことへの不安、統合先の笠岡小学校の状況への不安、そして、統合に向けての話し合いや説明会ができていないことへの不信感等の指摘があった。</li> <li>・アンケートの結果については、コロナだけを理由にはできない。やはりもう少し出かけて行って、地区の人に説明する必要があったのではないかと。</li> <li>・コロナの感染拡大を理由に、統合に向けての取組が滞っていったことに、責任を感じている。</li> <li>・アンケート結果を見て、当初の令和4年4月の統合は難しいので延期をし、残された時間で、今までできなかった交流や説明等をしっかり行い、理解を得ていくということが、今後の課題かと思う。</li> <li>・このことは今井小学校だけの話ではなく、市がこれから目指すべき将来の教育環境の姿というものが、市民に共有できていないことが、最大の問題だと思っている。</li> <li>・全員が同じ方向を向いて、統合しようということにはならないので、どこかで強い判断が必要になってくる。各論の部分をはたすら議論しても、総論の部分が理解できていないと何を狙っているのかが分からないと思うので、十分理解していただくという手段はもっとやっていくべきではないかと。</li> <li>・笠岡小学校の方が規模が大きいのので、今井小学校の児童が少し寂しい思いをするというのはかわいそうに思うので、地域を巻き込んでの交流ができれば良いと思う。</li> <li>・保護者目線から言えば、例えばバスでの通学について、集合時間や帰りの時間、帰りの便数・時間など、細かい話まで見せられる資料があると、安心感にもつながるのではないかとと思う。</li> <li>・前例の大島小学校の場合、大島東地区の児童数が圧倒的に少ないことへの不安は、当初からあったが、先生方のきめ細やかな対応もあり、大島東地区の児童が肩身の狭い思いをしているとか、人間関係で悩んでいるとかという報告は一切受けていない。</li> </ul>

- ・統廃合の際には、前例の状況等を報告できるようにしないといけない。今井小学校の保護者たちに大島小学校の実績を資料にして配付することは、理解につながる。ただし、説明会に参加した人だけに配付するのではなく、参加しなかった人も含め皆に、説明会の内容や資料等を配付し、意見を聞かないといけない。
- ・慣れている学校から新しい学校に変わることへの不安ももちろん大きいと思うが、それにも勝るメリットをきちんと伝えることも大事である。
- ・この間の今井小学校の説明会では、全員が来年度の合併はしないということに賛成してくれた。しょうがないですねという意見はあったけれど、これは事実である。
- ・計画の中に令和4年4月1日と明記しているので、総合教育会議の中で、延期をするということに合意をされるのであれば、いつまで延期をするのかという議論が出てくる。
- ・コロナの感染状況が落ち着くということを前提条件に、1年様子を見ながら、令和5年4月からの統合について、来年度一定の時期までに決めるというようなことを、合意事項として残しておいた方がいいかもしれない。
- ・教員配置の加配という点からいうと、今年度中にある程度の年限を示し、当然アンケートをすべきだと思う。その中で合意形成をすることが必要である。
- ・令和4年度の人事配置に向けての交渉は、令和4年1月ぐらいから県教委とやり取りが始まるので、1月中にある程度の合意形成ができるように、アンケートを実施しないといけない。
- ・アンケート調査をするまでに、今井地区・笠岡小学校地区の保護者の皆さんに、笠岡市の考え方や方針等を何回もわかりやすく説明し、学校規模適正化の意味や全体像が分かるようにしておかないと、アンケートをする意味がないと思う。
- ・保護者の人が読みやすいように、色や図を使ってわかりやすいQ&Aを定例的に作成し、保護者の理解を深めていく。今井小学校と就学前の保護者には、9月中に全員配付するようにする。
- ・Q&Aにより全体を理解していただきながら、学校規模適正化に対する理解を深め、来年の1月までにもう1回アンケート調査をして、令和5年4月1日からの統合の是非を問うという方針を出す。
- ・手続きとして、学校規模適正化の修正案を教育委員会で議決して、変更するような作業をさせていただくようになる。

### 3 その他


- ・学校で感染者が出た場合のプレス発表については、学校名のみにし、学年等については校内での情報共有をすれば良いと思う。
- ・個人情報に関することなので、本人や校長先生の意向も聞いた上で、どういう形で市民と情報共有をするのがいいのかを、災害対策本部会議の中で判断している。

4 閉会年月日 令和3年9月2日(木) 午後3時22分


上記会議のてんまつを記録し、関係図書を添付して、その相違のないことを証するため、署名押印します。

令和3年12月17日


笠岡市長

小林 嘉文 


教育長

岡田 達也 


教育委員

石井 啓弋 

教育委員

藤谷 幸弘 

教育委員

山下 敬広 

教育委員

東山 琴子 